

予算決算常任 委員会設置を可決

議会活性化に向けて

これまで、一般会計の予算及び決算に関する議案の審査は、いました。地方自治を取り巻く諸問題の高度化・専門化に平成28年3月から新たに予算決算常任委員会を設置する

発議

上毛町議会委員会条例の一部改正

予算決算常任委員会設置に伴う改正
提出:大山

採決 可決 (9:2)

●反対:高畠・荒牧

TPPからの撤退 調印中止を求める意見書

提出:茂呂
賛成討論 廣崎 農業については、関税が撤廃され、外国の安い農産物が輸入され、農家が失業する恐れがある。輸入食品の安全審査・化学薬品の使用制限が撤廃され、食品・医薬品・化粧品の安全表示、医療保険制度が崩壊する可能性がある。

採決 不採択 (2:9)

●反対:宮本・大山・三田・峯・宮崎・高畠・荒牧・田中・岩花

安保法制の廃止を求める意見書

提出:茂呂
賛成討論 廣崎 安保法制の廃止は、憲法学者が違憲と言っている。日本は民主国家なので、国民の意見を聞くべきである。自衛隊員は攻撃されなくても、他国に行き戦闘にまきこまれるおそれがある。

採決 不採択 (2:9)

●反対:宮本・大山・三田・峯・宮崎・高畠・荒牧・田中・岩花

暴力団排除に関する決議

提出:宮本

採決 可決 (10:0)

同意

上毛町教育委員会委員の任命

委員1名の任期満了に伴い、宮野 まさし(上唐原在住)の任命を同意

採決 可決 (10:0)

条例

上毛町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の制定

マイナンバー制度施行に伴い、個人番号を町、教育委員会などの連携事務を可能にするため

反対討論 茂呂 マイナンバーは情報が漏れやすいしくみになっていると思う。

採決 可決 (10:1)

●反対:茂呂

上毛町税条例等の一部を改正する条例の一部改正

施行されたマイナンバー制度の改正に伴う改正
反対討論 茂呂 マイナンバー導入により、事業規模の小さい企業ほど事務が繁雑になり、マイナンバーの管理も難しくなる。

採決 可決 (10:1)

●反対:茂呂

前進

平成27年第4回定例会(12月議会)は12月8日から12月18日までの11日間の会期で開催しました。

議案を分割し所管委員会ごとに審査をして対応し、より多くの見地から審査するため、ことになりました。

今回は、教育委員会委員の任命、マイナンバー制度の施行に伴う条例の制定及び町税条例改正など条例案2件、一般会計補正予算と一部事務組合の規約変更など2件、議員発議の条例改正1件と意見書案2件と決議1件を審査しました。

一般質問は、議員8名が登壇し、町政各分野にわたって議論が交わされました。また最終日には、道の駅のコンテナハウス設置工事費の増額補正予算が提案されました。

平成27年度一般会計(第4号)

補正額 2億6502万円

[補正後の総額 46億8464万円]

採決 可決 (10:1)

●反対:茂呂

主な内容

○築上東部乗合タクシーの車両購入費	401万円
○県外受診システム改修負担金(乳幼児・子ども医療)	160万円
○女性農業者の活躍促進事業(商品開発機器を補助)	25万円
○大平楽の施設修繕費(サウナ内装など)	159万円
○上毛PAに観光案内版設置	114万円
○町の借金を繰り上げて返済する経費など	(元金)2億474万円 (利子)291万円

反対討論 茂呂 個人番号カード本人認証機器を購入せずに、従来通りの事務処理はできる。国が個人番号導入の理由にしている行政の効率化、国民の利便性に逆行している。

賛成討論 宮本 地域住民の生活はもとより、行政事務の簡素・効率化、サービスの向上、地域経済活動活性化に必要な予算である。

三田 補正予算の大半を減債基金の繰り入れ、任意継上償還に充てている。基金を貯めることも必要だが、利子が高い起債を継上償還し、将来に負担を残さないことは重要である。

平成27年度一般会計補正予算(第5号)

補正額 500万円

[補正後の総額 46億8964万円]

採決 可決

●反対:廣崎・茂呂

○道の駅しんよしとみにコンテナハウスの設置工事を予定していたが、当初の計画から変更の必要が生じたため増額

反対討論 廣崎 一般財源を投入することもあるので、経営診断を活かして実施するべきである。
茂呂 採決当日の議案提出は、審議の時間が保障されていない。

賛成討論 三田 東九州自動車道の全面開通を間近に控え、手を打つことが必要不可欠である。
峯 コンテナハウス設置で集客が望める。